

入賞

自分色

岩出第二中学校 1年 堀内 蓮香

みなさんは本当の自分と言われて、どんな自分を想像しますか。友達の前での自分、1人でゴロゴロくつろいでいる時の自分、まだまだ甘えん坊な自分。たくさんのぼく、私が浮かんでくると思います。本当の自分を見失ってしまう人もいないでしょうか。少なくとも私はそうでした。学校では無意識の内に、話し相手がこちらに向けてくる偏見に迎合していくようなもので、やさしくおしとやかで物静かな知的な女の子をなるべく演じている間に「本当の自分ってどんなだったろう。」と自分自身についていけなくなればなる程、徐々に罪悪感がわきはじめました。みんなにうそをついている、みんなをだましていると感じているようでした。だれかが好意を向けてくれる、一見とてもありがたく受け取れることでもその時の私は素直に受け取ることができませんでした。その人が好きだと感じたのは私自身ではなく、取りつくろった自分、承認欲求だけで誕生したその自分なんだと。私が好きで理想の自分像をつくっていたはずなのに、いつのまにかそんな自分までもがきらいになっている身勝手な自分にもどこかいや気がさしていつか気づかない内に腹を立てて窮屈さを抱いていました。これが私の自分を見失った経験です。もし過去の私と同じ境遇で方向が分からなくなった人がいれば、そんな人に届いてほしいという思いでこの作文を本心で書いています。そんな貴方も本当の自分だと気づいてもらいたいから。どれだけ貴方が素の自分とかけはなれている貴方でも、どれだけのお世辞を言ってもきれいな面だけを見せている自分を責めないでください。「あの子にきらわれたくない」「私が好きな私を見せたい」という思いは本物だからです。どんな面の貴方も自分自身です。私はそう思うことを忘れないように心がけてからありのままの自分も、つくった自分も今では大好きです。それから、出せばいいなと思っていた心のおく深くにねむる自分を少しずつながらも出せるようになりました。ありのままの自分は出そうと思って出せるものではありません。本当の自分がどこにいるのか

探し当ててみてください。きっと昔の貴方がなりたかった自分色を引き出してくれます。どんな自分も大切にしてください。人前で態度や見せかけの自分をつくってしまうのは貴方がズルいのではなく、貴方がかしこいからです。本当の自分を守りたいだけです。たくさんの自分の手札をつくるだけ、その分貴方のカードは固くなります。何も取りつくろっていない自分がこうげきされたとき否定されたのは本心の自分なのと、自分の前にあるかべが傷つけられるのとであれば、かべが自分を守ってくれている方が本体へのダメージは少なくなります。ですが自分をつくること自体につかれを感じる人もいます。全部が本当の自分だとはいえ、力が入ると、息がつまってしまうのも仕方がなく、しんどいでしょう。だからこそ自分の汚れをぬぐえる場所をつくりましょう。どんなことでもいいです。アニメを見ながらゆっくりくつろぐ、本音で話し合える友人に流してもらうなど貴方の逃げ場となる居場所はたくさんあります。人のため、自分のため、本当の自分を包み隠す理由は人それぞれちがいます。どんな理由であったとしてもそれは武器となります。自分を自分で守れるのは本物の強みです。自分の長所ととらえれば自分も人も好きになることができるかもしれません。もしボロが出そうになって逃げ場のない道を歩いているならば、そのがんばりを私が受け取るのを待っています。自分を追いこまずに、きれいな貴方の心がだれかに汚されることがありませんように。